



創業100年の独立系玩具卸問屋

# 石川玩具株式会社

東京都墨田区本所 1-25-7 <https://www.ishikawa-toy.co.jp/>

## SDGsで玩具商社にできることとBCP対策を考え 助成金による太陽光発電の導入へ

SDGsという言葉が誕生した頃から「玩具商社には何ができるのか?」と考えていた石川玩具株式会社は、本社と越谷流通センターで早々に太陽光発電設備や蓄電池を導入。蒲生流通センターの新設にあたり、古橋総務部長は「最初から屋上に太陽光発電システムの設置を考えていました」と言う。「4年前に突然本社で電力がダウンし大変な経験をしたことから、災害時のリスクヘッジ、BCP対策をしたいという思いもありました」

古橋部長は様々な助成金を調べた結果、経費の約2/3が助成される当事業に応募することにした。まずは専門家が派遣され、会社の仕組みや取り組みをヒアリングしてレポートにまとめるのだが、その際に「様々な提案があり、とても勉強になったと思います」また、設置には専門業者の協力が不可欠であるため、専門業者の担当者ともメールや電話で密に連絡を取り合って申請書を完成。2024年5月末に太陽光発電モジュール64枚、蓄電池システムを設置完了し通電した。

## 使用電力量を抑えられるだけでなく 対外的にも誇れる取り組みとなった

同社ではモニタリングシステムによって電力使用量が一目で見られるようになってきているが、今回の導入によって蒲生流通センターの電力は平均すると3割ほどが太陽光でまかなえることがわかった。「当初考えていた7~8年よりもずっと早く減価償却できそうです。また、CO<sub>2</sub>で言うと、石油1斗缶(18L)に換算して半年間で156缶分の削減につながりました」かつては取引先や就職活動の学生から「SDGsに関して何をしていますか?」と問われてもお答えすることが出来ませんでした。今では同時に進めている地域貢献活動に加え、「太陽光発電を3ヶ所で稼働し、自家消費を実施していますとお話することができるようになりました」

もともと人にも地球にも優しい環境づくりを目指してきた同社は、現在は電気自動車も1台導入。次は越谷流通センターで、古くなり効率の悪い空調設備や人だけでなく、パレット積みの商品を運び電気代がかかっ



2023年3月竣工の蒲生流通センター



今回設置したパワーコンディショナーと蓄電池

ている大型エレベーターの取替えも考えているそうだ。「今後、世の中はますます省エネにシフトしていくのではないかと思います。当社も普段から自社に合う助成事業はないかチェックしていますが、こういった募集は締め切りまでに意外に時間が短いものが多いので、これからは素早く対応し、省エネを進めていきたいと思います」



越谷の花火もよく見える開けた屋上がパネルの設置場所となっている。